

令和7年度 第3回小糸・清和地区公民館運営審議会 会議録

- 1 会議名称 令和7年度第3回小糸・清和地区公民館運営審議会
- 2 開催日時 令和7年12月17日（水）14時30分から16時55分
- 3 開催会場 清和地域拠点複合施設 会議室1
- 4 出席委員 【小糸地区】小川委員、藤村委員、細家委員、榎本委員
事務局 【清和地区】伊藤委員、佐藤委員、亀井委員、白駒委員
【小糸公民館】倉見館長、寺本公民館主事、隅越主任主事
議題説明 【清和公民館】安部館長、唐鎌副主査、竹内主任主事
【生涯学習文化課】野村課長、布施副課長、小林副主幹
- 5 欠席者 なし
- 6 傍聴人 1名
- 7 公開または非公開の別 **公開**・非公開
- 8 会議概要 下記のとおり

1. 開会（進行 安部館長）

【安部館長】

規則第9条第1項によりますと、会議は、議員の半数以上が出席しなければ開くことができないとされておりますが、本日の出席者は全員ですので、会議の開催要件を満たしております。

なお、本日の会議は、審議会等の会議の公開に関する規則により公開となっておりますことを申し添えさせていただきます。

同規則第6条の規定により、会議を傍聴することができるとなっております、本日は1名の方が傍聴されておりますことをご報告させていただきます。

まず、伊藤委員長よりご挨拶をお願いいたします

2. 委員長あいさつ

【伊藤委員長】

第3回の審議会にご出席いただきありがとうございます。年の瀬を迎え慌ただしい中ですが、風邪などひかないよう元気に過ごしていただきたいと思います。

公民館事業についても4分の3が過ぎます。本日の案件に進捗状況とありますが、職員においては事業完了に向け引き続きよろしくをお願いいたします。

本日は、3件の報告と、2件の議題がございます。限られた時間ではございますが、慎重審議いただきますようお願いし、あいさつとさせていただきます。

【安部館長】

それでは、次第3からの進行は、議長であります伊藤委員長にお願いいたします。

【伊藤委員長】

それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

3. 報告

(1) 上半期事業について

【伊藤委員長】

次第3報告(1) 令和7年度君津地方公民館運営審議会委員連絡協議会・君津地方公民館連絡協議会合同研修会について、亀井委員から報告をいただきたいと思います。

【亀井委員】

私は、4月から公民館運営審議会委員を受けましたが、今回の研修で行運審議委員の役割が理解できました。私は清和に移住して10年が経ちました。公民館での人と人との交流の中で、地域の歴史を知ることだったり、協力し合える仲間に出会い、日々の暮らしを楽しんでまいりました。これからもさらに学ぶ姿勢を心がけていきたいと思っております。以上です。

【伊藤委員長】

報告いただき、ありがとうございました。質疑等は行いませんので、次に進めさせていただきます。

それでは、2番目の文化祭についてと3番目の20歳のつどいの進捗状況について、一括でそれぞれの公民館から報告、説明をお願いをしたいと思います。

- ・資料1～2頁に沿って 小糸公民館 倉見館長、隅越主任主事説明
- ・資料3～5頁に沿って 清和公民館 唐鎌副主査説明

【伊藤委員長】

ありがとうございました。それでは、文化祭についてと進捗状況について報告をいただきました。順番でご意見を頂きたいと思っております。

【小川委員】

特別企画で壁画について取り組んだので、語り継ぐことがとても大事であり、藤村委員が色々詳しく調べてくださり大変助かりました。来場者の方から壁画に込められた願いを理解できたとの声を聞いた時には企画してよかったなと感じました。

それから、婦人会さんがすごく頑張ってください、戦争の時の食事としておにぎりを出してくださいました。皆さん美味しかったということで、ちょっと不思議な気持ちになりました。また、豚汁を作ったり、婦人会さんもフルに活動していたことが、とても嬉しいなと思えました。

また、周東中とかずさウインドオーケストラのコラボに感動しました。単独の演奏よりコラボしたことによって、中学生が音の出し方など学ぶところがたくさんあったと思っております。かずさウインドオーケストラの人が、どこで練習してきたのかし

らと思うくらい前日と比べて、今日はすごく上手になっていたと言っていた声を聞いて、とても嬉しかったです。

当日は、どこで何をやっているか分かりにくかったので今後の課題だと思いました。

それから、若い人たちがお互いに声を掛け合って頑張っていたことに、パワーを感じました。雨が降っていても、どこから来たのかしらと思うくらい来客数があり驚きました。

清和公民館は、2日目にお邪魔した時にすごく感動したことは、体育館の入口にゴミの分別がきちんとしてありました。普段家庭で出来ていることだから、祭りの時こそみんなが意識して分別すべきと感じました。小糸公民館は片付けの時に、可燃ごみとしてまとめて持ってきていて、分別すればよかったと感じました。このような取組は大事だと感じました。

あと、コミュニティ清和のいつものお二人による紙芝居がとても良くて、あのようなコーナーは大事だなと感じました。

おらがわ産のポップコーンも知っていれば買いたかったなと思いました。

【細家委員】

小糸小の細家です。文化祭始めいろんな報告をありがとうございました。

私が非常に感銘を受けるのは、お年寄りとかだけでなく、若い方、あるいは児童生徒、その全ての年代の方を文化祭の成功のためにどういう風に関わりを持たせるかという運営の仕方は素晴らしい取り組みだと考えさせられました。本校について言えば、6年生主体だと思いますけれども、子供実行委員として、積極的に声をかけていただき、忍者屋敷の運営に取り組みさせていただいてありがとうございます。

この文化祭という行事が、小糸、清和それぞれの文化について考える場と同時に、地域の繋がり、その地域の過去と将来について考え、良さをみんなで見つめ合わせた、本当にたくさんの要素を持った行事になっていると思います。

そういうコーディネートをしてくれる各実行員や公民館の皆様の本当に丁寧な対応に感銘して、こういう行事が毎年持続的に続く、そういう地域であり続けてほしいなという風に願うわけです。

【藤村委員】

感想を述べさせていただきます。小糸の方で言うと、例えば二十歳の人や小中高生の協力、清和ではポップコーンの栽培と販売を通して若い子が一生懸命頑張ってくれていました。それが将来の君津の発展に繋がると考えております。

市内の文化祭を、生涯学習文化課の課長もすべて見ていただいたと思いますが、私は何か所か文化祭を見て小糸と清和が一番元気だなと思っております。それは職員と地域の方々が努力してくださっているからです。その元気になる源の環境づくりに市も頑張ってくれ協力してほしいし、それが君津の活性化と思っていますので、感想も含めてお願いいたします。

【榎本委員】

榎本と申します。婦人会の会長をしております、今回2日間婦人会の活動としてバザーや模擬店の出展をさせていただきました。また、公民館ロビーで戦後の掲

示がありましたので、私どもも婦人会として戦時中はこういったものを食べてたのか食料事情を調べました。

小糸地区は結構食料事情が良かったようです。文化祭では煮物、ご飯、麦とサツマイモのご飯を作って提供しました。これは本当は美味しくてはいけなかったのかもしれないんですが、今のサツマイモなどは品種改良されてまして、美味しくなったのかなと思いましたが、皆さんから美味しいとの感想もいただきました。

清和公民館に2日目にお邪魔させていただきまして、戦争中の展示を見させていただいて非常に感動しました。外の模擬店等もいろんなことをされてたんだなと思いました。

両館とも若い方たちが一生懸命やっていたらっしゃり、とても力強いものを感じました。

【白駒委員】

私は、小糸の文化祭にちゃんと行ったことが初めてで、小糸の公民館自体も、全部を巡ったのも初めてでしたので、作りが、元の清和公民館にちょっと近いなと思ひ、懐かしさと伝統的な感じがすごくありました。何よりも出店や展示の仕方にも温かみを感じました。

当日は、寒かったのもあり豚汁がすごく美味しかったです。ちょうど飲食スペースの目の前で、子どもたちが合唱の練習を始めていたので、思いがけず子どもたちの歌声を聞くことが出来てとても感動的でした。発表は最後まで見られなかったのですが、オーケストラと中学校とのコラボをすごく見たかったなと思いました。

清和公民館ですが、今回、私たち公運審の委員は、総合受付を行いました。2日間ともありましたが、来場者の方との交流が密にできました。相對して、スタンプラリーの紙を配ったのですが、それを皆さんがものすごく喜んでくれて、全部スタンプを押してもらった方には、お菓子をすくう特典があり、とても好評で、何回もやりたがる子たちもおりまして、それが子どもたちだけではなく、いろんな世代の方にすごく好評だったので、素晴らしい取り組みだと思いました。

【亀井委員】

小糸公民館では戦争の展示がしてあり、係の方が説明してくださったりして、とてもいいものを見せていただいたなっていう感じがあります。壁画の制作者は秋田出身の方でしたよね。私も秋田出身なので、こういう方がいらしたのだと知りました。すごくいい取り組みだったと思います。

そして2日間雨の中でも、20歳の集いの方たちの焼きそばだったり、中学生だったり、あと婦人会の方たちも模擬店など笑顔でやっていたので、接客が笑顔ですごくよく、味も美味しかったです。

清和公民館では、スタンプラリーは高齢者の方も含め皆さん頑張ってじゃあ行きましようみたいにして楽しんでいらして、ゴールはこのアメをすくうんですよって言ったら、すごくほころんだ顔で楽しんでくれたなっていう感想です。

あと、子供たちのせいわキッズラボでのどんぐりとかでの制作物、その過程を見ているととても楽しんでいたことはよかったと思います。

【佐藤委員】

小糸公民館は文化祭初日の25日に行かせていただきました。2日間とも雨で大変だったと思います。お疲れ様でした。

まず、特別企画を拝見させていただき、タイル壁画に込められた平和への祈りについて、とても考えさせられました。

模擬店や物販部門で、昨年度に引き続いてカフェを開いた若い人たち、中学生、20歳のつどいの実行委員がやっていました。中学生の世代の参加によって、文化祭全体の活気があったと思います。雨でしたが、本当に頑張ってくれていました。

新しい取り組みとして、小学生のピアノ演奏とか、かずさウインドオーケストラの人と周東中の吹奏楽部での合同演奏は、公民館の文化祭だからこのような交流が実現できたという先ほどのご報告を聞いて、なるほどそうだろうなと思よかったなと思いました。

あと、私は初日に忍者屋敷の方にも並んで入らせていただきました。孫と一緒に入ったのですが、怖がるかなと思ったのですが、全然怖がらずに楽しんでいました。ありがとうございます。

清和公民館の文化祭ですが、小糸公運審委員の皆さんにも足を運んでいただきまして、本当にありがとうございました。

2日目のおらがステージの司会をしていただいたアイライクモンキーの真板さんのインスタを見ると、地元の文化祭に参加し、地元に貢献できてとても嬉しかった。またお声がけがあればぜひ参加したいという、ことが書かれてありました。うちの孫とお嫁さんも参加させていただいたのですが、自分も楽しませていただいて本当にありがとうございました。

清和公民館のポップコーンは育てている時から子どもたちと一緒に、私も水やりもしましたけれど、自分たちで育てたものを売って、そのお金を寄付したり、イベントで使用したりということは、金銭的なお金との関わり合いとか、人との関わり合いを、子供たちがとても学べたと思います。また、デジファブの方が作成したガチャガチャを使わせていただいたっていうのは良かったと思います。

1番私が良かったと思うのは、以前から参加してくださった団体の他におらがわが新しく開館してから繋がった団体が、今年多く見られたことが、私としてはとても嬉しく思います。

20歳のつどいでは、私たちの声を聞いていただいて、出席者が自己紹介をしていただくということです。自己紹介だけでも、保護者などの出席者の楽しみになると思いますのでいい機会だと思います。よろしくお願いします。

【伊藤委員長】

ありがとうございました。人数はそれぞれの地域特性もあり全く違うから、人数だけで比較すれば、多い方が賑やかたとなりますが、少ない中であっても、質の高いものを地域に提供できることは素晴らしいと思います。

やはり文化や人の繋がりが1番重要ということになると思います。どこも繋がりがあありますが、小糸と清和は繋がりが1番強いと思います。

特に文化祭につきましては、皆さんから意見のあった若い人たちの参加が定着していることが最も大きな特徴だと思っております。本当に子供たちも、少ないなか

であっても、少しでもいいから参画して、地域と一緒に活動することが最も有効と思いますので、これに引き続き学校等にも調整していただいて、ぜひ、継続参加をお願いをしたいと思います。

あと、周東中吹奏楽部とかずさウインドオーケストラのコラボはこの写真を見る限り、羨ましさがあります。清和の場合はかずさウインドオーケストラだけの演奏だったと思います。ぜひ次年度は合同演奏にしていただければありがたいと思います。

また、見るだけでなく、自分の体を使って何かを体験するのは、印象に残ると思います。その方が人のつながりもより強固になると思います。スタッフの人数は少ないからみんなやりたくないという面もあるかとは思いますが、やはり体験があった方がいいと思います。サークルもいっぱいあるので、ぜひ早めの準備で対応できればと思いますので、よろしくをお願いします。

最後にもう1点、清和公民館の場合ですけど、公民館の解体もあり、駐車場の確保に課題があり、やはり駐車場はイベントや安全対策など全てにおいて重要だと思います。市有地の今後の活用は決まっていますか。返還とか処分という話は特にまだ今は無いですか。

【生涯学習文化課 野村課長】

今、解体を行っており、終了後は現状回復し返還する予定で進んでいます。

【伊藤委員長】

今後、駐車場等で活用できるように検討をお願いしたいと思います。

協議会報告につきましては終わりにしたいと思います。

次第4の議題1、重点取り分野を中心とした令和7年度事業の進捗について小糸公民館から説明をお願いします。

・資料6～8ページに沿って 小糸公民館 寺本公民館主事、隅越主任主事説明

・資料9～11ページに沿って 唐鎌副主査、竹内主任主事説明

【伊藤委員長】

ありがとうございました。重点取り組み分野とその進捗につきましてもそれぞれの公民館より説明がありました。各委員から意見等あればお願いします。

【小川副委員】

小糸公民館の教育講演会と文化祭を通して戦後80年の節目ということで、両方で取り組んだことは、地域の人たちに戦後のことを壁画を通して知ってもらえたことがとても良かったと思いました。小学生にも講演会で地域の方がお話できたらいいかなと思っています。

それから、高齢者いきいき学級で、相撲集会に参加したことはすごくよかった。相撲集会でお相撲さんと子供たちが取り組みをしたり、いろいろな話ができ、この企画はとても良かったとおもいました。

また、男の人は奥さんが亡くなると何もできないと聞いていました。これからは

高齢者100歳時代でありますので、シニア男性向けの初めての料理教室とか、高齢者向けの企画がとても大事だなと感じました。

【細家委員】

色々報告ありがとうございました。今の世界情勢を見ると、長い歴史の中でいろいろな教訓があるにも関わらずまだ戦争が、地域紛争として続いています。小学校としては、生の語りは価値のある勉強だと思いますし、小中学校でも実施していただければありがたいなと思います。

小学生やその保護者、私自身も、もう直接戦争を経験したことがないわけで、自分もおじいちゃん、おばあちゃんから戦争での苦労は聞いたことはありますけれども、やはり体験した人から話を聞くことで、今現状ある平和の大切さを考え、教科書では学べない学習になると思います。ぜひ講演会など検討させていただいて、実現できればいいなと思っております。

【藤村委員】

資料を読ませていただいて、説明もよくわかりました。お疲れ様でした。またよろしくをお願いします。

【榎本委員】

私もいきいき学級に参加していますが、小糸公民館でいろんな企画をこれだけたくさんやってらっしゃるのだなと思ひまして、本当に感激しております。また、清和公民館も行事が色々あって、いきいき学級のお飾りの先生が清和公民館でも、いろいろな体験を実施していて、非常に頑張っているから、清和公民館の事業にも参加できたらいいなと思ひました。

【白駒委員】

私も先日、この教育講演会に行かせていただきました。私はもちろん戦争も経験していませんし、親やおじいちゃん、おばあちゃんからなんとなく聞いたぐらいで、新しく知ることがいっぱいあり、とても勉強になりました。1番感心したのは、中学生が真剣に聞いていて、自分たちの意見を述べ質問している子たちがいるのが素晴らしいなと思ひました。

あとは、清和公民館でやった秋祭りの盆踊りはとても盛況で、賑やかに楽しく参加しました。残念なことは踊る人が少なく、せつかく多くの人数が集まったので、みんなが踊れるように工夫ができたならよかったと思ひました。

【亀井委員】

小公民館のお相撲さんとの体験は普段はできないことで、行って見たかったという感想です。

シニア男性向けの男の料理も魅力だと思ひました。私の夫にも「サークルができたなら参加してみたら」と言ってみようと思ひました。

清和公民館での魅力探訪ウォークにはほとんど毎回参加してしまひて、地元の方でも全然知らないことも知ることができましたし、他の地域からの参加者との交流もできて、とても楽しかったです。

盆踊りは何回かあった練習の期間に参加できず、当日は踊りにちょっとついていけなかったけど、皆さんとても楽しい雰囲気でしたから、続けてほしいなと思いました。

【佐藤委員】

小糸公民館では、多世代交流を図るお相撲さんとの触れ合いや、とてもニーズの高さが伺えたシニア向けの料理教室も大変素晴らしい行事だと思います。色々と考えてくださりありがとうございます。

清和公民館の方では、私も探訪ウォークには何度か参加させていただいたのですが、地元で長く住んでいる私でも全然知らないところや魅力がよくわかる、とても素晴らしい行事だと思います。

本年度から始まったたき火交流会や秋祭り、これは私も両方とも参加させていただきました。本当に多世代の交流ができて、地域全体の活力向上を目指している成果がこの両方の行事には詰まっていると思います。ぜひ来年も続けてやっていただきたいと思います。

【伊藤委員長】

ありがとうございました。皆さんから感想をいただきましたが、この戦争と平和の地域学習は本当に時期を得たものだと思います。先日、新聞に戦争の伝承が人から物へという記事が掲載されていました。まさにだんだん戦争を経験された方が少なくなり、人から人への伝承は難しくなるので、今後は物で残すしかない段階だと思っています。壁画の保存や戦争遺構をめぐるということは本当に時期を得た有効な取り組みだったと思っています。ぜひ、この記録を残していただければと思っています。

シニアの料理教室は、清和においても、1人暮らし高齢者あるいは高齢世帯が地域課題の1つになっていますので、この料理教室を続けてもらいたいし、清和でも実施したらいいと思います。この取り組みは地域の支え合い活動の一環にもつながるものじゃないかと思っています。昔も男の料理教室がありました。高齢者が対象ではなかったと思います。女性向けに実施してもいいと思います。また、女性の方が来て、昔の料理や郷土料理をその場で教えたりして、お互いに支え合いながら過ごしていければ1番いいと思います。ぜひ、このような取組を続けていただければと思います。

他に、特にこの議題につきまして、ご意見ございますか。よろしければ議題1につき終了します。

次に、議題2、公民館の開館時間及び休館日について生涯学習文化課より説明をお願いします。

～～生涯学習文化課 小林副主幹 資料に沿って説明～～

【伊藤委員長】

ありがとうございました。ただいま、生涯学習文化課より説明いただきました。

今回、委員1人1人から意見をいただきたいということですので、各委員さんから意見をお願いします。

【生涯学習文化課 小林副主幹】

まず、ご質問をいただき協議をして、最後にご意見を一言ずついただければありがたいです。

【小川副委員長】

1つ質問です。夜間の閉館と休館日は、8館全部一緒でしょうか。一緒にする理由は何でしょうか。

【生涯学習文化課 布施副課長】

夜間休館というのは夜間の利用がない場合ということで、夜間閉館につきまして、1週間前にならないと、夜間使用が有るか無いかが分かりません。1週間前に利用が無い当該館については夜間休館となります。

【小川副委員長】

休館日はいかがですか。

【生涯学習文化課 布施副課長】

休館日は一律で実施しようと思っております。

【小川副委員長】

そうすると、すごく地域差があると思います。曜日別利用状況を見ますと中央公民館や八重原公民館に対して、山間部の小糸や清和の公民館では差が大きいと思いますので、全館一律にするのはどうなのかと思います。全館ばらばらの休館日もいかがなものかと思いますが、利用者側としたら気にかかります。

【生涯学習文化課 小林副主幹】

ご意見として承ります。

【細家委員】

今回、市民の方にアンケートを取り、実態が分かったと思いますが、そもそも全庁的に公共施設の開館が協議に上がった原因は、社会的な働き方改革ということで、これは学校も漏れがなく、学校の立場で申しますと、実際1人の人間が教育してるわけで、その1人の人間が責任を負えるその容量をオーバーしている現状があります。その現状がどう影響するか。子どもたちに手厚く健全な育成をするという本来の学校の目的を果たすのに支障が出る状態がずっと常態化しているのが大きなポイントです。

ですから、現状はオーバーワークでお休みする先生が非常に増えて、トータルとして一生懸命働くけど、結局いい教育に繋がってないという現状があったので、学校としてやるべき仕事を絞って、子供たちの健全な育成に繋がることに仕事の方を集中していこうというのが必要だと思うのです。

今回、全庁的なこの取り組みも、学校と同じく、市の職員の方々のオーバーワークと考えます。市民の方々から公共施設に関する要望が時代とともに増えてきてい

と思いますが、限られたマンパワーで地域の文化の源になる公民館の運営を安全、安心にかつ充実してやっていくためには、全体の仕事量を減らして、安心、安全な部分にその労力を傾けなければいけない。開館時間は長く、週に休みが無いというのは利用者には便利だと思いますが、実際使ってみると、安全に利用が出来ず怪我に繋がるような見落としが出てきてしまうことが1番マイナスなので、公民館を利用する方の利便性は多少ありますが、質の高い公民館運営のために協力していただきたいとのことであれば、皆さん耳を傾けてくれると思います。今後も今まで通り、質の高い地域の活力を高める、仕事を継続して行えるような仕事の範囲になればいいと思っています。

【藤村委員】

資料ありがとうございます。今日も新しく資料が提出されましたが、今までいただいた資料につき読み込んでるつもりです。この公民館運営審議会委員の会議を通すと、最低でも小糸、清和地区の方々にはご理解をいただいたということになるのでしょうから、自分の考えを言わせてもらいます。

以前から、場合によっては市民サービスが下がることも仕方ないが、その場合は最低限に抑えるべきであるという話をさせていただきました。

8月に出された資料の中に、社会情勢の変化、経済面から公民館の開館時間の短縮と休館日の新設が検討課題と書いてあります。

1つ目に、21時に開館時間を短縮することは、いろいろ検討したのしょうからやむを得ないのかなと思います。

2つ目、休館日については、以前会議の場で市の方に対し、月1回の休館日ではいけませんかと話しました。それについて当然検討されたのしょうが、そこについて一言もありません。その結果をもって週1回の休館日はいかがなものかと思っています。事務局の方々が考え抜いて出した結果ならば、私たちは公民館運委審議会委員の立場として、原則、市の方々に提案を作るのをお任せします。ただ、きちんと考えたということを経験に、私はやむを得ないと思います。また場合によっては、予定にとらわれることなく検討することも可能かと思っています。

3つ目、夜間の利用が無い日は夜間休館することにつき、事務局は、はじめは働く人の立場になったら急に休館することを否定されました。ただ、21時以降、閉館することによって、当然に費用も浮くと思います。具体的に昨年度の休館を見込める日が出ていますので、それを基にした見込みがどれくらいかを教えてください。

最後をお願いします。今年から非常勤の館長が不在になりました。私が見る限り、公民館の職員は疲れ切っています。人が減ったからと言って行事を減らすわけにはいかないと頑張る姿に責任感を感じます。今回の変更が利用者にとっては、我慢せざるを得ない場面もあるのかもしれないけど、職員にとってマイナスに出ないようにしてほしいと思います。

先ほど課長より職員の方々の意見を聞きましたという話がありました。これだけ大きな変更がある場合は、館長の他に1番現場を知っている公民館主事の方々の意見を伺うことも必要だと思います。

【榎本委員】

21時が閉館時間になることに関してはやむを得ないと思っています。

休館日の問題ですが、地域によって利用状況にかなりのばらつきがありますね。毎週同一曜日の休館ではなくて、隔週にしてくれたらいいのかなと思っています。

色々な考えがありますが、公民館職員の忙しさは非常によくわかっておりますので、その辺も考えた上でやむを得ないことであると思っています。

【白駒委員】

休館日を設けることは絶対なのでしょう。反対の意見を含む回答が72.1パーセントあります。この意見をどう思っているのかに関しては書いてありませんし、ないことになっているのか。休館日を置きたいと明確に書いてあるので、それは置きたいのだろうというのは分かりますが、この72.1パーセントの意見は結構大きいと思います。それをどのように捉えているのか私は聞きたいです。

【亀井委員】

私も条件を全部同じにするのはどうなのかという思いもあります。

また、細家校長先生もおっしゃったように、安心、安全を守りつつ、オーバーワークにならないことも考えなければいけないと思います。

以前夜間に清和公民館を利用させてもらった時は、その場が楽しくてつい時間延長してしまいましたが、決められたらその通り行くのかもしれない。

【佐藤委員】

私も休館日、閉館日の見直しをするということを前提に今日の説明がされていると感じました。

休館日を増やすことに反対する意見が72.1パーセントあり、その方面の意見もお聞きしたいなと思います。

月曜日から土曜日の開館時間を21時としたいことに関して、仕方ないと私も思います。

休館日を置きたいという意見は仕方ないので、頭から反対をするのではなく、それを月曜日にするか火曜日にするかを今後考えなくてはいけないと思います。休館日があった場合でも、例えばおらがわの場合は行政センターがあるので入口は開いています。サークル活動や部屋を借りての活動が休館日は出来ないということですよ。

でも、例えばサークルのロッカーに提出物を入れに行くとかに関しては入口が閉まっているわけではないので大丈夫と理解をしてもいいですね。

それと、夜間の利用がない日は、夜間を閉館としたい理由は、電気代とかもったいないのは最もだと思います。今度から夜間を休館にした場合、用事があって来たら閉まっていて困ることがあり得るかなと思います。そういう利用者たちには、休館日をどのように周知するのでしょうか。1週間前に入口とかに張り出しで皆さんにお知らせするような形かなとは思いますが、毎日来ている人じゃなければそれはわからないので、その辺がちょっと難しいなと今考えていました。

【伊藤委員長】

閉館時間につきましては、市役所関係などは、時間外勤務の削減とか、働き方改

革で世間全てがこのような流れにあり、時間短縮についてはやむを得ないと思います。この休館日は職員不在の完全休館ではなく、職員は出勤するのですよね。そうになると、どこにメリットがあってデメリットがあるのか、理解が出来ないです。どうしても休館日を設けることにつき、文化ホールも安全点検のための休館日がありますが、点検は人が集まる場所なので全館休館にして実施するのは当然の話で理解できるけれども、その他に、休館日に職員も休むならばいいのですが、職員は出勤するが、貸し館事業は当然入れられないとなると、経費面の観点からがメインになってしまうと思います。変更の内容につき皆さんはやむを得ないと理解されていますが、なぜこういう休館日が必要なのかということ、改めて皆さん知りたいと思います。それでないと経費面の削減のためだけに実施するような気がしますので、ぜひ説明ができるようにお願いします。

あと、周知の方法等について十分考えていただければと思います。

【生涯学習文化課 布施副課長】

事実的な経緯をご説明させていただきます。

まず、一律の休館日については、今協議の最中で全てが確定しているということではございません。この間各館と話し合いを重ねてきて、各館の状況から一律の方が望ましいのではないかとといった状況でございますが、一律にしない方法も取れるのではないかと検討をしている最中です。ただ、各館の意見をまとめると今のところ一律休館にするウエイトが大きい状況でございます。

先ほど委員から学校の状況をご紹介いただきました。また、公共施設全般の開館時間等の見直しについて、公民館ピンポイントではないという説明も行いましたが、やはり、働き方改革も要因の1つであるのは間違いのないと思いますが、公民館の夜間の休館については、一部例外はありますけれども、日中勤務している職員がそのまま引き続き夜間の当番に当たるという状況ではありません。直接的に職員の働き方改革だけが理由にあるという説明はできないかと思っております。

ただし、一方では、やはり経費というのは大変大きな要素となっております。これを一言で財政難と言うのははふさわしくないかと思いますが、やはりお金は大変重要な点で、限られた貴重なお金をどうやってやりくりするのか。例えば、開館時間だけでなく色々な設備の環境整備に回せるお金を限られた財源の中から工面しなければならぬといったこともあります。そのような点をトータルバランスで含めて少しでも節約できる場所、また労力の工夫ができる場所、その中に、開館時間の短縮に伴って経費が節減出来るのであれば、それを別の意味での教育の充実化に向けて回すことができる一側面がございます。それが正しいか正しくないかは別に、そのような側面もあることをご説明させていただきます。労力の面とお金の面と、両方ともとても大切な問題です。

その双方を含めて、今回の開館時間や休館日の案を提出させていただいてます。

また、休館日が月1から週1になった経緯ですが、経費の比較については、後ほど課長からご説明させていただきます。検討の経過の中では、なるべく利用者の方に影響がない月1休館日といった案を検討のまな板に乗せて話し合ってきました。しかし、現在の状況が、節約できる面を少しでも幅を広げていかなければならないという状況で、やむなく週1休館日という案を出させていただいているところです。

また、公民館職員の話は聞いたかということですが、各職員が集まって直接的に1人1人から話を聞く機会があったかというのと、申し訳ありませんが、そのような機会を持てなかったというのが事実です。その分各公民館でも、館長を通じてそれぞれの意見を集約して一緒に考えてきました。決してそれが十分だったかというのと不十分な点があったかと思いますが、各館と一緒に悩みながら進めてきた経緯があります。ただ、それが必ずしも十分ではなかったという点に反省点は持っているところではあります。

あと、休館反対の意見が多い事に対しどう思うかというご意見がございました。数字で見ますと、やはり多くの方が疑問を持っていらっしゃる。これについてはこのアンケートを出す前から当然想定されていたことで、今回の提案はより良い方向性を目指していこうというよりも、いかに影響を少なく今を乗り越えていくかといった観点での策という風に捉えておりますので、反対の意見は大変多いのですが、なんとかご理解いただいて、その中で影響を少なくするための策はないかといった形で進めさせていただいているところです。

あと、休館日のメリット、デメリットですが、少なからず影響があります。公民館の職員数も、ピーク時から比べると現在は約半分になっています。その様な中でなんとかやりくりをして、少しでも事業に影響を及ぼさないようにと進んでいるところですが、現在でも、電話対応をしている間にもう1本の電話が鳴っても電話に出られないという状況もあります。また研修も年に数回行っていますが、なかなか参加が難しい状況があります。

そういった状況の中で、休館日を設けますと、貸し出し業務は行いませんので、貸館という点でのサービスは若干低下しますが、土日に勤務する職員がその日に休暇や代休を取ったり、残った職員が館内整備に回ったり、そういった形で工夫をしながら休館日を活用して、事業の質をなんとか担保したいと考えているところです。

それがメリット、デメリットという言葉で表現できるか分かりませんがそのような状況です。

【生涯学習文化課 野村課長】

私からは、削減額をお答えさせていただきます。

委員から話があったのですが、夜間は1週間前に予約がない場合は閉館すると考えており、来年10月から行う予定であります。表にある昨年度の予約がない日を参考に来年度の8館の半年間の効果額を試算いたしますと、人件費につきましては175万円程度でございます。それに伴う電気代は225万円程度の削減ということで試算が出ていますところでございます。

また、週1回休館にする場合と月1回休館にする場合を半年間で比較した効果額は、280万円程度で、8館の半年分をトータルした人件費の削減額になります。月1回の休館で同じく試算してみますと、約45万円と試算が出ています。このことより週1回の休館を考えているところでございます。

それともう1つ委員からお話があった件ですが、今年度から、館長は正規職員が就任しており、職員が疲弊しているということ、職員の負担がこれ以上増えてしまうことは、私も問題だと考えておりご意見をいただきましたので、職員の確保については私の方でできる限り受け止めさせていただき、頑張りたいと思っております。

ろでございます。

【藤村委員】

今の件については、当然これから議会などでも検討するのでしょうかから、答えは求めていますので、こちらの要望として話をしています。

【伊藤委員】

公民館職員の皆さんは、夜間や土日も事業もあり本当に大変だと思います。ですから、この見直しが職員の負担の軽減になるものであれば、みんな何も言わず、やむを得ないと思い理解してくれると思いますので、説明が十分されるようにしていただければと思います。

施設に係る費用は公民館の関係だけじゃなく、全部の施設に発生するものです。なので、職員が働きやすい環境でサークル活動の充実を図るために休みがあった方がいいということであれば、やむを得ないんじゃないかと思います。

【生涯学習文化課 布施副課長】

承ったご意見をお預かりしながらこの作業を進めてまいりたいと思います。ありがとうございました。

【伊藤委員長】

では皆さん、よろしいですか。議事の進行にご協力いただき、ありがとうございました。

【安部館長】

伊藤委員長、ありがとうございました。では、最後に、その他になりますが、委員の皆様から何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

では、令和7年度第3回小青和地区公民館運営審議会を閉会いたします。